

## とやまエコ・ストア制度登録店の取組み実績（令和5年度）

とやまエコ・ストア制度の取組み（1レジ袋無料配布廃止、2資源物の回収、3低炭素化の取組み）により、次のような効果が得られると推計されます。

（[ ]内：令和4年度との比較）

### ① ごみ排出削減量

1,841 t [-202]	(レジ袋の削減量)
・富山県内のごみ総排出量（406,434t (R3)）の0.5%分に相当	



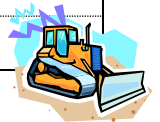
### ② リサイクル量

3,201 t [-147]	(資源物の回収量)
・富山県内のリサイクル量（102,502 t (R3)）の3.1%分に相当	



### ③ 最終処分（埋立）削減量

660 t [+38]	(レジ袋の削減量、資源物の回収量から、これら进行处理したときに発生する焼却灰や不燃物の量を推計)
・最終処分量（35,628 t (R3)）の1.7%分に相当	



### ④ CO<sub>2</sub>削減量

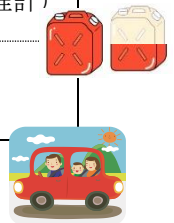
35,993 t-CO <sub>2</sub> *1 [572]	(レジ袋の削減量、資源物の回収量、店舗空調の緩和温度から推計)
●富山県の約7,620世帯分の年間CO <sub>2</sub> 排出量に相当*2 ●県民1人当たり年間36.0 [kg-CO <sub>2</sub> ]の削減量に相当 ⇒ 1世帯当たり年間87.6 [kg-CO <sub>2</sub> ]の削減量に相当	

※1 富山県内の民生業務部門のCO<sub>2</sub>排出量（145[万t-CO<sub>2</sub>] (R3)）の2.5%分に相当  
※2 1世帯の年間CO<sub>2</sub>排出量を4.72[t-CO<sub>2</sub>/年] (R3 富山県推計)として推計

### ⑤ 原油削減量

12,220 kl*1 [213]	(レジ袋の削減量、資源物の回収量、店舗空調の緩和温度から推計)
県民1人当たり年間12.2[l]の原油削減量に相当 ⇒ 1世帯当たり年間29.8[l]のガソリン削減量に相当*2	

※1 ドラム缶 6.1[万本]に相当  
※2 原油が全てガソリンに精製されると仮定



県民の皆さんと事業者の皆さんとの協働の取組みは、ひとつひとつは小さな行動ですが、これが輪となって広がって、大きな効果を生みます。  
お店とのエコ活動をきっかけに、家庭や職場でもエコライフの実践を“あたりまえ”にしましょう！

